

関係機関の連携の基に

賃貸住宅への入居  
困りごと相談・支援

3月1日、地域福祉活動支援センターで、居住支援協議会設立総会が行われ、賃貸住宅事業者、居住支援団体、福祉関係団体、市関係部署が参加しました。

本総会では、高齢者など住宅確保要配慮者といった、住宅を借りづらい状況の人の円滑な入居



△居住支援協議会設立総会の様子

環境の整備に向けて、設立規約の承認と令和4年度の事業計画の報告がされました。

水害から命を守る

防災ブックを  
全世帯に配布



市は3月下旬に、市内の全世帯と全事業所を対象に、各地域の水害リスクや水害に関する最新情報などを掲載した防災ブックを配布しました。

これは、市民一人ひとりが水害に備え、主体的に自身や家族の安全確保のために行動できるようになることを目指している

ます。

防災ブックには、「いつ、どこへ、どのようにして避難するか」といった、災害時、命を守るためにとる防災行動を、自分自身が時系列的に整理するページ（マイタイムライン）が設けられている他、水害発生時における市内の浸水被害想定や水害からの避難のあり方（広域避難など）が掲載されています。

※届いていない場合は近畿ポスティング協同組合 0120（931）629へ

環境にやさしいまちへ

シェアサイクルに係る  
産官学連携協定を締結



△協定式の様子

市・大阪工業大学・OpenStreet(株)3者が協定締結

市では2月25日、大阪工業大学、OpenStreet(株)の3者でシェアサイクル実証実験に係る産官学連携協定を締結しました。シェアサイクルの実証実験は、令和6年3月31日までの2年間（4月1日運用開始）で、市内全域においてOpenStreet(株)が提供する「HELLO CYCLING（ハローサイクリング）」を実施し

大阪工業大学と  
連携協定

市では2月25日、大阪工業大学と「摂津市と大阪工業大学の連携に関する協定書締結式」を開催しました。

相互の資源を活用しながら、研究・普及・教育に係る連携活動を行うことで、地域の発展と活性化や、それぞれの発展と充実に寄与することを目的としています。

協定では、地域の政策課題、共同で実施する事業の企画及び推進、地域活性化に寄与する人材の育成などが盛り込まれており、まちづくりの政策課題の解決など大阪工業大学が持つ知的・人的資源を活用しながら、お互いの発展につながるような取り組みを行っていきます。

ます。

市では、シェアサイクルの本格導入を見据え、実証実験から得られる利用データを連携協定のパートナーでもある大阪工業大学に提供し、分析・検証や、それに基づく提案・アドバイスなどを受け、人が集まる場所に新たにシェアサイクルポートを設置するなど、利用ニーズや周辺状況を見極めながら、利便性向上に向けて更なる展開を図っていきます。

※利用方法などは本広報紙12ページへ